

ます。

ゴルフなどが楽しむことができる「屋内多目的運動場」や、武道場を含む「多機能体育施設」を一体的に整備したいと考えています。

併せて、災害時の避難場所としても活用します。小中学校の耐震化、南小学校の建設など、教育環境の整備が予定通り進む中で、今、大きな課題となっているのは「学力向上」への取り組みです。

子どもたち一人ひとりが、学ぶ楽しさを知り、自分たちが持つ力を着実に伸ばすことで、将来の可能性を広げることができるよう、学校や保護者、教育関係者の皆さんとともに対策を進めます。

### ③ 安心を实感できる市政

#### ◆医療と福祉環境の充実

昨年10月、市民や団体、医療機関、行政などがメンバーとなって「地域医療を考える稚内市民会議」を設立し、4月以降、具体的な取り組みを開始することになっています。

今後、開業医誘致に取り組むとともに、地域が一体となって、このまちの医療を守り育てる機運が、一層高まるよう、本市としての役割をしっかりと果たし

対応のための「認知症初期

集中支援チーム」を確立するほか、「地域支援推進員」による相談対応等の充実を図ります。

また、多くの職種が協働し、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制づくりを推進するとともに、「生活支援コーディネーター」を新たに配置し、生活支援や介護予防サービスの充実・強化に努めます。

#### ◆防災対策の強化

町内会などの協力を得ながら、要支援者一人ひとりの避難計画の作成を進め、

地域における防災体制の強化を図ります。また、災害発生時には、持出ができる「防災地理情報システム」を導入し、どのような状況下にあっても、災害エリアや避難経路、避難施設、要支援者の情報などを瞬時に把握し、的確な避難指示が可能となるシステムを構築します。

消防団の地域防災力の強化策として、協力事業所表示制度の導入、機能別消防団員制度の整備や、資機材の更新など整備の充実を図り、団員の確保や世代交代を進めます。

遠隔地の救命率向上のため、救急車が到着するまで

の間、AEDなどによる救命処置を行う「ファースト

レスポンス制度」を確立するほか、東浦分団に新たな消防車両を整備します。

#### ◆交通ネットワークと冬の住環境の充実

昨年秋季以降、JR北海道は、宗谷本線における普通列車の減便や、一部駅の無人化などの方針を打ち出しています。

平成元年、天北線が廃止となり、沿線の町が大きな打撃を受けたその歴史を再び繰り返すことがあってはならないと考えています。

どのようになると、もっと多くの方にJRを利用していただき、将来にわたって、この地域の鉄路を守ることができると、今こそ、沿線自治体が連携して、知恵を出し合い行動することが必要であり、前向きな取り組みを進めます。

国は、稚内空港を含む道内の国管理空港について、コンセッション方式による民営化の方針を打ち出しています。

空路は、地域の活性化や、市民の生活の足として重要なものであり、稚内空港の安定した運営を支えるためにも、関係団体などの意見を充分踏まえ地元としての意向を国や北海道に対して

示していきます。

旭川市を拠点とし、本市までの幹線道路である国道40号は、まさに「市民生活と命を守る道」として、大変重要な役割を担っています。高規格化の早期実現に向け、整備区間の早期完成と、未整備区間である美深・音威子府間、中川・天塩間の早期事業化を目指し、引き続き要請します。

緑・富岡環状街路整備事業については、第一工区の道路整備と、栄2号橋の上部工事を実施し、早期完成を目指します。

#### ◆住環境の整備

危険家屋などの除去に対する補助を継続するほか、改めて、各地域の空き家などの実態を把握するための調査を実施し、適正管理を促します。また、計画的な除雪機械の入れ替えにより、万全な除雪体制を確保いたします。

上下水道の耐震化、終末処理場の設備更新を進めるとともに、「稚内市水道事業ビジョン」を策定し、水道事業の健全性を確保します。

#### ◆外国人観光客の誘致拡大

合わせた誘客対策の強化

として、宗谷岬や稚内公園など、市内5か所の観光スポットで、WiFi-Fiを整備するほか、ガイドブックやパンフレットの多言語化を進めます。

本市と利札3町が連携し、フェリーや路線バスが、4日間乗り放題となる「広域型周遊パス」の対象を外国人にも広げるとともに、国内向けの販売数を増加させるなど、更なる広域観光や、長期滞在の促進を図ります。

先月、訪問したシंगाポールでは、観光、物産の両面で、手応えを感じたところであり、今後は、ASEAN諸国からの観光客の誘致や、物流ルート開発などにも取り組みます。

#### ◆いよいよ3月26日、北海道新幹線開業

函館・稚内間のチャーター便の運航を北海道と連携し、運航会社へ要請しています。道北は、東北地域において非常に人気が高いことから、仙台空港からのチャーター便の運航についても、積極的に働きかけていきます。

今後も、全日空による定期便の利用拡大を進めるとともに、FDA、フジ・ドリーム・エアラインズによるネットワークを活用し、

全国から観光客を呼び込み

#### ◆中心市街地の魅力拡大

市役所庁舎の建替えについて、庁内の考え方を整理するとともに、稚内商工会議所の「まち部会」における検討も参考にしながら、市民の皆さんからのさまざまなご意見を伺っていきます。

#### ◆各種大会やイベントの誘致・開催

夏でも冷涼な気候や、「最北端」の知名度を活かした「フルマソン大会」の開催を検討しています。

全国から多くのランナーが参加する大会として定着するよう、準備を進めます。また、本年は、南極観測の開始から60年を迎えます。本市と南極観測の関わりを多くの方に知っていただき更には地球環境について考える機会となるよう、講演会をはじめ、さまざまな記念事業を実施します。

#### ◆移住・定住の推進

体験者の声や、若者の酪農体験動画を配信するなど、情報発信を強化します。

また、昨年度から実施している「ちよっと暮らし」について、西浜地区に新たに1棟開設し、お試し移住